

マクロレンズ現役の相棒あれこれ



カメラマンなら1本は常備していると思われるレンズはマクロレンズでしょう。弊社では長く宝石関連の撮影を行ってきた関係で、フィルム時代から様々なマクロレンズと付き合ってきました。左は現在でも希に出番があるレンズと、何時も使っている相棒たちです。それぞれに特徴があり、デジタルの技術進化で求められる性能が変わってきています。カメラも進化して画素数も増え、画像処理技術も毎年のように変化する中、結局は良いレンズありきだと強く感じています。

「写真は道具じゃない!」という言葉はデジタル時代では一面で真理ですが、「写真は道具を見極めること!」でもあるようです。湯水のごとくお金を使えば良いかといえばそうではなく、結局は良い写真を撮りたいと思うエネルギーなので、失敗とチャレンジの日々です。



Koyama



コロナ禍で岡山城「春の烏城灯源郷」が中止になってしまいました。毎回依頼を受けて撮影してきましたが、岡山城は5月いっぱい、お色直しのため来年の秋まで入館できなくな

ります。少しずつ機材も進化し、ライトアップも変わり、時が流れるように写真も変化してきました。

この写真は2020年夏の「烏城灯源郷」で撮影したものです。より一層綺麗になって我々の目を楽ませてくださいる時まで、勇姿を目に焼き付けて暫く待つことにします。

Morita



Uこども園竣工写真フォトブックを制作し納品いたしました。4月に竣工したUこども園は、内部に木をふんだんに使い、子供たちが安心安全に暮らせるように、ユニークでやさしい配

慮があちらこちらにありました。

フォトブックは全20P、外観・完成予想図・夜景・内観・ドローンによる空撮を網羅し、細かいディテールが伝わる事を念頭に制作いたしました。

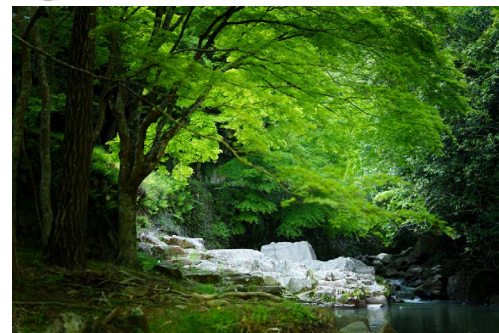
Kusuda



撮りためた写真を見ると、春は花の写真が多い事に気づく。春は色が豊かに膨らみ気分もウキウキするのでカ

メラを持って出かけたくなるが、最近めっきりどこにも出かけていないことに驚く! もっぱら家と職場の往復。過去の写真で旅行気分を味わってみると、その時の空の色、風の感じ、空気、匂い。意外に写真の中にたくさんある。なんだか楽しい。

Mizuko



桜の季節はあっという間に過ぎ去り、近所にある名勝豪溪へと足を運びました。豪溪は荒々しい巨岩と紅葉の組み合わせで有名な場所ですが、新緑もまた大変美しい場

所です。石灰岩の白みがかった岩と、もみじの新緑が映える川辺には、心地よい風が吹き抜けていました。緑も紅葉と同じく刻々と色彩を変化させてゆきます。6~7月になりホテルが舞う頃には、豪溪の緑はどんな色に変化しているのか。今年も楽しめそうです。